

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

| | | | | | |
|----------|--|-----------------------|---------|----------------|-----|
| 施策展開 | 2-(7)-ア | 県民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進 | 施策 | ① 県民の社会参加活動の促進 | |
| | | | 施策の小項目名 | — | |
| 主な取組 | NPO等市民活動の促進 | | | 実施計画記載頁 | 165 |
| 対応する主な課題 | ①社会環境の変化や社会ニーズの多様化などにより、ユイマールと言われる相互扶助の精神で支えられてきた地域コミュニティにおける人間関係が希薄化し、地域の抱える課題も複雑化している。 | | | | |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容 | | 年度別計画 | | | | |
|---|----------------------------------|--------------------|-----|---------|---------|---------|
| | | H29 | H30 | R元(H31) | R2(H32) | R3(H33) |
| NPO法人等が行う市民活動を促進するため、NPO法人設立を考える団体に対し、設立に向けた相談や必要な申請書類の作成に関する支援を行い、既に設立済みのNPO法人に対しては法人運営に必要な手続きの支援を行う。また、県民に対し、NPO法人に関する情報提供等を行う。 | | | | | | |
| 実施主体 | 県、市町村、NPO等 | | | | | |
| 担当部課【連絡先】 | 子ども生活福祉部消費・くらし安全課 【098-866-2187】 | | | | | |
| | | NPO法人設立に関する相談、情報提供 | | | | |

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

| 予算事業名 | | | | | | | R元(H31)年度 | | 平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画 |
|------------|------|----------|----------|----------|----------|------------|-----------|------|--|
| 主な財源 | 実施方法 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | |
| NPO市民活動促進費 | | | | | | | | | |
| 県単等 | 直接実施 | 4,199 | 3,988 | 6,406 | 6,208 | 5,459 | 5,082 | 県単等 | ○H30年度: NPO法人に対する認証業務等(設立認証12件、定款変更認証52件)、沖縄県NPOプラザの運営、情報収集・発信(バナナ通信2回) ○R元(H31)年度: 沖縄県NPOプラザの運営。NPO法人の設立認証や定款変更、役員変更等手続きの支援。情報収集・発信。 |
| — | | | | | | | | | |
| 主な財源 | 実施方法 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | 平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画 |
| | | — | — | — | — | — | — | | ○H30年度: — ○R元(H31)年度: — |

様式1(主な取組)

| 活動指標名 | NPO認証法人数 | | | | H30年度 | | | H30年度 決算見込 額合計 | 進捗状況 | 活動概要 | | |
|---|----------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|------|---|--------|-------------|
| 実績値 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | | | |
| | 679 | 697 | 708 | 722 | 734 | 683 | 100.0% | 5,459 | 順調 | 沖縄県NPOプラザにおいて、NPO法人設立の相談に応じ、平成30年度は12法人の設立認証があった。 | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B |
| 実績値 | — | — | — | — | — | — | — | | | | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B |
| 実績値 | — | — | — | — | — | — | — | | | | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B |
| 実績値 | — | — | — | — | — | — | — | | | | | |
| (2)これまでの改善案の反映状況 | | | | | | | | | | | | |
| 平成30年度の取組改善案 | | | | | | 反映状況 | | | | | | |
| <p>①設立相談において、それぞれの団体運営に適したスタイル(任意団体、NPO法人、一般社団法人、株式会社等)を選択できるようアドバイスを行い、一般社団法人格を検討する団体に対し、中間支援組織の紹介等情報提供を行う。</p> <p>②効率的な設立相談を行うために、事前に情報を収集できる県ホームページ掲載資料の追加・改善等を随時行う。</p> | | | | | | <p>①公益活動を行う団体が、その団体に適した法人格を選択できるよう県ホームページ上に資料を掲載した。</p> <p>②法人設立相談前に県ホームページ上の資料を一読していただくよう案内し、相談時に疑義等について詳しく説明を行い、それぞれの団体に適した法人格の選択ができるよう助言を行った。</p> | | | | | | |



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・NPO法人を設立したいと考える団体への設立相談時に、設立後の運営も踏まえた助言・指導を行うことで、設立後の各種手続きが適正に行える法人が増えてきたが、書類の完成に相当な時間を要する団体も多く、設立までに時間がかかっている。また、法施行後20年が経過し、法人の情報公開等、運営上求められる要件が変わってきている中で、組織体制の脆弱さから、活動の継続性や各種手続きの滞りなど、課題を抱える法人も多い。

○外部環境の変化

・地域貢献活動を行おうとする団体が取得する法人格の選択肢が増えており、NPO法人格と同じく、公益活動を行う法人格として非営利型一般社団法人についても増加傾向にあると言われている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・NPO法人を選択せず、一般社団法人格を検討したいとする団体に対しても、地域におけるNPO活動に関する相談や支援を行っている中間支援組織による相談が可能であることを案内し、活動の継続性や各種手続きの滞りなどの課題を抱えるNPO法人に対しては、自主解散も含めて検討するよう指導を行っていく。

4 取組の改善案(Action)

・設立相談において、それぞれの団体運営に適したスタイル(任意団体、NPO法人、一般社団法人、株式会社等)を選択できるようアドバイスを行い、一般社団法人格を検討する団体に対し、中間支援組織の紹介等情報提供を行う。

また、効率的な設立相談を行うために、事前に情報を収集できる県ホームページ掲載資料の追加・改善を随時行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

| | | | | | |
|----------|---|-----------------------|---------|----------------|-----|
| 施策展開 | 2-(7)-ア | 県民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進 | 施策 | ① 県民の社会参加活動の促進 | |
| | | | 施策の小項目名 | — | |
| 主な取組 | 地域ボランティアの養成 | | | 実施計画記載頁 | 165 |
| 対応する主な課題 | ②地域住民一人ひとりが地域に貢献していることを実感できる社会参加の機会をさらに拡大することが課題となっている。 | | | | |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容 | | 年度別計画 | | | | |
|---|---------------|--------------------------------|----------------|---------|---------|---------|
| 取組内容 | | H29 | H30 | R元(H31) | R2(H32) | R3(H33) |
| 沖縄県社会福祉協議会が運営する「沖縄県ボランティア・市民活動支援センター」において、ボランティア活動に関するイベントやボランティア募集等の告知等を掲載したメールマガジンの配信、各種講習会の情報提供を実施、市町村社会福祉協議会ボランティア担当研修協議会の開催等を行う。 | | 27,000名 | 27,500名 | 28,000名 | 28,500名 | 29,000名 |
| | | (ボランティアの数) | | | | |
| 実施主体 | 県、県社会福祉協議会 | | | | | |
| 担当部課【連絡先】 | 子ども生活福祉部福祉政策課 | | 【098-866-2177】 | | | |
| | | ボランティアコーディネーターの養成及びボランティア活動の推進 | | | | |

2 取組の状況(Do)

| (1)取組の進捗状況 | | | | | | | (単位:千円) | | | |
|------------|-----------------------|----------|----------|----------|----------|------------|-----------|------|---|--|
| 予算事業名 | 地域福祉推進事業費(生涯現役活躍支援事業) | | | | | | R元(H31)年度 | | 平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画 | |
| 主な財源 | 実施方法 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | | |
| 各省計上 | 補助 | 11,811 | 11,576 | 11,576 | 11,576 | 11,576 | 11,344 | 各省計上 | ○H30年度: 研修会等を4回、メールマガジンやHPによるボランティア関係のイベントの情報提供、ボランティア募集を毎月2回行った。 ○R元(H31)年度: 研修会等を3回、メールマガジンやHPによるボランティア関係のイベントの情報提供、ボランティア募集を毎月2回行う。 | |
| 予算事業名 | — | | | | | | R元(H31)年度 | | 平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画 | |
| 主な財源 | 実施方法 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | | |
| | | — | — | — | — | — | — | | ○H30年度: — ○R元(H31)年度: — | |

様式1(主な取組)

| 活動指標名 | 県内市町村社協へ登録しているボランティア団体に加入している会員の総数 | | | | H30年度 | | | H30年度 決算見込 額合計 | 進捗状況 | 活動概要 | | |
|---|------------------------------------|---------|---------|---------|--------|---|-------------|----------------------|------|--|--------|-------------|
| 実績値 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | | | |
| | 24,897人 | 25,047人 | 26,434人 | 26,424人 | 24,446 | 27,500 | 88.9% | 11,576 | 概ね順調 | 研修会等を4回、メールマガジンやHPによるボランティア関係のイベントやボランティア募集を毎月2回行う等、ボランティアの充実強化に取り組んだ。 | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B |
| 実績値 | — | — | — | — | — | — | — | | | | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B |
| 実績値 | — | — | — | — | — | — | — | | | | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B |
| 実績値 | — | — | — | — | — | — | — | | | | | |
| (2)これまでの改善案の反映状況 | | | | | | | | | | | | |
| 平成30年度の取組改善案 | | | | | | 反映状況 | | | | | | |
| <p>①コーディネーターに対する支援を行うとともに、新たな人材確保のために検定を実施する。</p> <p>②「沖縄県ボランティア・市民活動支援センター」のホームページにおいて、県内にてボランティア活動を行う人・団体を登録するとともに、ボランティア活動に関するイベントやボランティア募集情報等の提供を行うなど、拠点機能を活かした支援を行う。</p> <p>③県内ボランティア関係者に対する研修会等の実施を通し、福祉教育の推進を図る。</p> | | | | | | <p>①ボランティアコーディネーターの育成のため、平成30年度はボランティアコーディネーションカ3級検定を実施した(合格者数36名)。</p> <p>②ホームページにより、ボランティア活動をしている人の情報登録を行うとともに、イベントやボランティア募集情報等の提供を行う等拠点機能を活かした支援を行った。</p> <p>③福祉教育の推進を図るため、研修会を4回開催した。</p> | | | | | | |



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・ボランティアに関する情報の発信不足や、ボランティアの受入れ、活動の場の提供など、ボランティア活動の支援や環境整備などの体制が充実していない。

○外部環境の変化

・地域福祉の課題が顕在化する中、ボランティアに対する関心も高まり、地域においてボランティアの重要性が増している。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・人材の養成を行うとともに、ボランティアを必要としている人々とボランティア希望者のマッチングを支援することで、ボランティア活動を行いやすい環境整備を行う。
- ・地域におけるボランティアの重要性が増している中、地域住民がお互いを支え合う意識を高めていく必要がある。



4 取組の改善案(Action)

- ・コーディネーターに対する支援を行うとともに、新たな人材確保のために検定を実施する。
- ・「沖縄県ボランティア・市民活動支援センター」のホームページにおいて、県内にてボランティア活動を行う人・団体を登録するとともに、ボランティア活動に関するイベントやボランティア募集情報等の提供を行うなど、拠点機能を活かした支援を行う。
- ・県内ボランティア関係者に対する研修会等の実施を通し、福祉教育の推進を図る。

様式1(主な取組)

| 活動指標名 | 県とNPO等との協働事業実績 | | | | H30年度 | | | H30年度 決算見込 額合計 | 進捗状況 | 活動概要 | | |
|---|----------------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|------|---|---------------------|--|
| 実績値 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | | | |
| | 202 | 193 | 276 | 331 | 331 | 200 | 100.0% | 5,459 | 順調 | 協働事業を拡大するため、沖縄県NPOプラザの運営(NPOに関する情報収集、発信、広報啓発)を行った。また、協働力向上のため、NPO法人等を対象として会計基準講座や個別相談会を県内4カ所で開催した。協働に対する県職員への意識啓発のため、NPO協働推進連絡会議を1月に開催した。 | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | 実績値 | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 | <p>沖縄県NPOプラザにおいて、NPO法人に関する情報の収集・提供・広報啓発及びNPO法人等の協働力向上のための会計基準講座を実施し、NPO法人等の活動基盤強化を図ることができた。</p> <p>NPOとの協働推進に関する講演会を開催し、協働に関する認識を深めた。</p> <p>平成30年度の協働事業実績については、平成31年度に調査するが、計画値以上が見込まれる。数値は平成29年度の実績値を入力した。</p> |
| | — | — | — | — | — | — | | | | | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | 実績値 | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 | <p>沖縄県NPOプラザにおいて、NPO法人に関する情報の収集・提供・広報啓発及びNPO法人等の協働力向上のための会計基準講座を実施し、NPO法人等の活動基盤強化を図ることができた。</p> <p>NPOとの協働推進に関する講演会を開催し、協働に関する認識を深めた。</p> <p>平成30年度の協働事業実績については、平成31年度に調査するが、計画値以上が見込まれる。数値は平成29年度の実績値を入力した。</p> |
| | — | — | — | — | — | — | | | | | | |
| (2)これまでの改善案の反映状況 | | | | | | | | | | | | |
| 平成30年度の取組改善案 | | | | | | 反映状況 | | | | | | |
| <p>①NPOと行政の協働推進に向け、広く県庁職員にNPO法人に関する情報収集のための沖縄県NPOプラザ及び内閣府NPO法人ポータルサイトの周知に努め、NPO法人に対しては、情報公開の重要性についての認識を深め、内閣府NPO法人ポータルサイトの利用を推進していく。</p> <p>②県職員への協働に関する研修については、外部からの講師の招聘を含め、方法について検討する。</p> | | | | | | <p>①NPO等と行政の協働実績について調査を実施し、結果を消費・くらし安全課のHPに掲載した。</p> <p>②県職員への協働に関する研修を、外部から講師を招聘して実施した。</p> | | | | | | |



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・本県における協働の担い手としてNPO法人等が取り組む機会が増加している。NPO法人側が一般県民に対する情報公開の手段として利用できる内閣府NPO法人ポータルサイト等の周知が進んでいないこと、一部法人側にも情報公開に取り組む姿勢が低いこと等がある。協働の機会の増加につながり、NPO活動の支援者の獲得にもつながる情報公開の重要性を法人側に周知していく必要性がある。

○外部環境の変化

・公益的な活動を活動目的とする法人格の選択肢が増え、NPO法人格のほかに一般社団法人格を選択する団体が増えているといわれている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・これまで県庁各部主管課職員をNPO協働推進員とし連絡会議や講演会を実施してきたが、協働の事業実績も伸びていることから、今後は推進員を対象とした会議や講演会等ではなく、より多くの職員にNPO法人の情報を得るための沖縄県NPOプラザの利用や内閣府NPO法人ポータルサイトの利用を推進していく。



4 取組の改善案(Action)

・県職員に対しては、NPO法人に関する情報収集のための沖縄県NPOプラザ及び内閣府NPO法人ポータルサイトの周知に努め、NPO法人に対しては、情報公開の重要性についての認識を深め、内閣府NPO法人ポータルサイトの利用を推進していく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

| | | | | | |
|----------|--|-----------------------|---------|------------|-----|
| 施策展開 | 2-(7)-ア | 県民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進 | 施策 | ② 協働の取組の推進 | |
| | | | 施策の小項目名 | — | |
| 主な取組 | 民生委員児童委員活動の推進 | | | 実施計画記載頁 | 165 |
| 対応する主な課題 | ①社会環境の変化や社会ニーズの多様化などにより、ユイマールと言われる相互扶助の精神で支えられてきた地域コミュニティにおける人間関係が希薄化し、地域の抱える課題も複雑化している。 | | | | |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容 | | 年度別計画 | | | | |
|--|---------------|--------------------------|----------------|---------|---------|----------|
| | | H29 | H30 | R元(H31) | R2(H32) | R3(H33) |
| 民生委員・児童委員は地域住民からの相談に対応し、地域住民の立場から福祉行政との橋渡しを担っており、その活動を推進することで、全ての人が心豊かで、安全・安心に暮らせるよう日常生活を支える地域福祉に貢献する。 | | 195,000日 民生委員の年間活動日数 | | | | 224,000日 |
| 実施主体 | 県、市町村 | | | | | |
| 担当部課【連絡先】 | 子ども生活福祉部福祉政策課 | | 【098-866-2177】 | | | |
| | | 民生委員・児童委員活動への補助及び活動環境の整備 | | | | |

2 取組の状況(Do)

| (1)取組の進捗状況 | | | | | | | (単位:千円) | | | |
|-------------------|------|----------|----------|----------|----------|------------|-----------|------|--|--|
| 予算事業名 民生委員事業費 | | | | | | | R元(H31)年度 | | 平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画 | |
| 主な財源 | 実施方法 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | | |
| 県単等 | 補助 | 75,799 | 74,909 | 84,626 | 86,858 | 85,343 | 92,247 | 県単等 | ○H30年度: 研修を15回開催したほか、広報活動や必携の配布を行い、民生委員活動の支援を行った。担い手確保のため12市町村にてヒアリングを実施した。 ○R元(H31)年度: 研修内容を県と委託先が協議することで充実させ、委員の資質向上を図る。また、広報活動を強化することで、民生委員活動の推進を支援する。 | |
| 予算事業名 民生委員活動活性化事業 | | | | | | | R元(H31)年度 | | 平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画 | |
| 主な財源 | 実施方法 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | | |
| 県単等 | 委託 | — | — | — | 18,900 | 18,945 | 20,845 | 県単等 | ○H30年度: H29年度調査結果を踏まえ、8箇所の民生委員児童委員協議会にコーディネーターを派遣し支援した他、研修を2回開催し委員の活動環境を整備した。 ○R元(H31)年度: 8箇所の民生委員児童委員協議会への支援を継続するとともに、支援で得られた好事例を全県的に波及させる。 | |

様式1(主な取組)

| 活動指標名 | 民生委員の年間活動日数 | | | | H30年度 | | | H30年度 決算見込 額合計 | 進捗状況 | 活動概要 |
|---|-------------|---------|---------|---------|---------|--|-------------|----------------------|------|--|
| 実績値 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | |
| | 196,475 | 195,413 | 201,898 | 192,614 | 184,628 | 202,250 | 91.3% | 104,288 | 順調 | 市町村の区域ごとに置かれた民生委員・児童委員により、地域住民の生活及び取り巻く環境の状況を適切に把握し、福祉サービスを適切に利用するために必要な情報の提供その他の援助及び指導を行う。 |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | |
| 実績値 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | |
| | — | — | — | — | — | — | | | | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | |
| 実績値 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | 民生委員に対する研修を15回開催したほか、県広報誌で特集記事を掲載する等、民生委員制度や委員活動に対する広報活動を行った。また、民生委員及び民生委員児童委員協議会を支援し、民生委員が活動しやすい環境の整備に取り組み、充足率の向上に努めた。 その結果、計画値に対し達成割合が約91%と概ね順調に推移した。 |
| | — | — | — | — | — | — | | | | |
| (2)これまでの改善案の反映状況 | | | | | | | | | | |
| 平成30年度の取組改善案 | | | | | | 反映状況 | | | | |
| <p>① 民生委員・児童委員の円滑な活動に資するため研修等の充実を図る。</p> <p>② 民生委員の担い手確保のために、県広報誌やチラシ等を活用したPR活動を行う等、民生委員制度に関する広報活動に努める。</p> <p>③ 民生委員の組織的活動を支える活動基盤である民生委員児童委員協議会の中からモデル地区を選定し、同地区に対して派遣する専門コーディネーターによる支援を行うことで、民生委員が活動しやすい環境を整備する。</p> | | | | | | <p>① 民生委員・児童委員に対する研修を15回開催し、資質向上を図った。</p> <p>② 県広報誌「美ら島沖縄」によるPR活動や知事メッセージの発表、新聞掲載の他、リーフレットの配布を行い、民生委員制度や民生委員の活動内容について広報活動を行った。</p> <p>③ モデル地区として選定した8箇所の民生委員児童委員協議会に専門コーディネーターを派遣し、支援を行ったほか、民生委員児童委員協議会や行政担当職員を対象に研修を2回開催し、民生委員の活動環境を整備した。</p> | | | | |



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・充足率の低い状態が慢性的に続くことによる仕事量の増加や、民生委員活動に対するマイナスイメージ(忙しい、大変)等が、担い手不足の一因になっている。

○外部環境の変化

・経済的困窮や虐待、子どもの貧困等、多様で複雑な課題が顕在化・深刻化する中で、地域共生社会の実現に向けた担い手の一員である民生委員・児童委員に求められる役割や期待が高まっており、負担感が増している。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・今後も市町村や民生委員児童委員協議会と連携し、民生委員・児童委員の役割や活動内容について周知し、市町村における担い手確保の取り組みの改善を行う必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・民生委員・児童委員の円滑な活動に資するため研修等の充実を図る。
- ・民生委員の担い手確保のために、県広報誌やチラシ等を活用したPR活動を行う等、民生委員制度に関する広報活動に努める。
- ・民生委員の組織的活動を支える活動基盤である民生委員児童委員協議会の中からモデル地区を選定し、同地区に対して派遣する専門コーディネーターによる支援を行うことで、民生委員が活動しやすい環境を整備する。

様式1(主な取組)

| 活動指標名 | 講座・講演会の実施回数 | | | | H30年度 | | | H30年度 決算見込 額合計 | 進捗状況 | 活動概要 | | | |
|--|-------------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|--------|--|--------|-------------|---------------------|
| 実績値 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | | | | |
| | — | — | — | — | 19 | — | 100.0% | 18,053 | 順調 | 男女共同参画社会づくりに向けて意識啓発及び人材育成を図るため、講座・講演会を実施した。 また、男女共同参画週間にパネル展や講座等の各種イベントを開催し、意識啓発を図った。 | | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | | | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 |
| 実績値 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | — | — | — | | | | | | |
| 活動指標名 | — | | | | H30年度 | | | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | |
| 実績値 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | — | — | — | | | | | | |
| (2)これまでの改善案の反映状況 | | | | | | | | | | | | | |
| 平成30年度の取組改善案 | | | | | | 反映状況 | | | | | | | |
| <p>①各部局の取組については、沖縄県男女共同参画行政推進本部会議や幹事会を通して、情報共有、進捗確認を行う。</p> <p>②市町村における取組については、市町村男女共同参画主管課長会議を通して、情報共有等を行うことにより、市町村間の取組差を解消する。</p> <p>③広報パンフレットをおきなわ女性財団、女性団体連絡協議会などと連携し、男女共同参画関連イベントで配付を行うことにより、広報啓発を図る。</p> | | | | | | <p>①平成30年12月26日に沖縄県男女共同参画行政推進本部幹事会、平成31年1月15日に沖縄県男女共同参画行政推進本部会議を開催し、男女共同参画に関する情報共有、進捗確認を行った。</p> <p>②市町村間の取組差を解消するため、市町村男女共同参画主管課長会議を平成30年5月29日に開催し、男女共同参画に関する情報共有等を行った。</p> <p>③おきなわ女性財団や女性団体連絡協議会等関係団体と連携を図り、男女共同参画週間(毎年6月23日～6月29日)に開催されるイベント等において、広報パンフレットを配付し、広報啓発を行った。</p> | | | | | | | |



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

- ・市町村における男女共同参画の取組(市町村男女共同参画条例制定および計画策定状況)について、全国と比較して遅れがでている。
- ・条例制定状況 全国37.1%、県内市町村36.6%
- ・計画策定状況 全国76.7%、県内市町村46.3%

○外部環境の変化

- ・国内の医学部をはじめ複数の大学において、入試の合否に男女で不平等な取り扱いがなされていた事が相次いで発覚するなど、男女共同参画に関する社会的意識が高まっている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・各部局及び市町村における男女共同参画の取組について、情報共有等を行う必要がある。
- ・広報パンフレット(第5次沖縄県男女共同参画計画概要版)を活用した、広報啓発を図る必要がある。
- ・女性力を推進するためのシンポジウムや講演会等を開催するなど、県民全体の意識を高める取り組みを行う必要がある。



4 取組の改善案(Action)

- ・各部局の取組については、沖縄県男女共同参画行政推進本部会議や幹事会を通して、情報共有、進捗確認を行う。
- ・市町村における取組については、市町村男女共同参画主管課長会議を通して、情報共有等を行うことにより、市町村間の取組差を解消する。
- ・広報パンフレットをおきなわ女性財団、女性団体連絡協議会などと連携し、男女共同参画関連イベントで配付を行うことにより、広報啓発を図る。
- ・シンポジウム等を開催する。